

## 中小型株式市場の見通しについて

いちよしアセットマネジメント

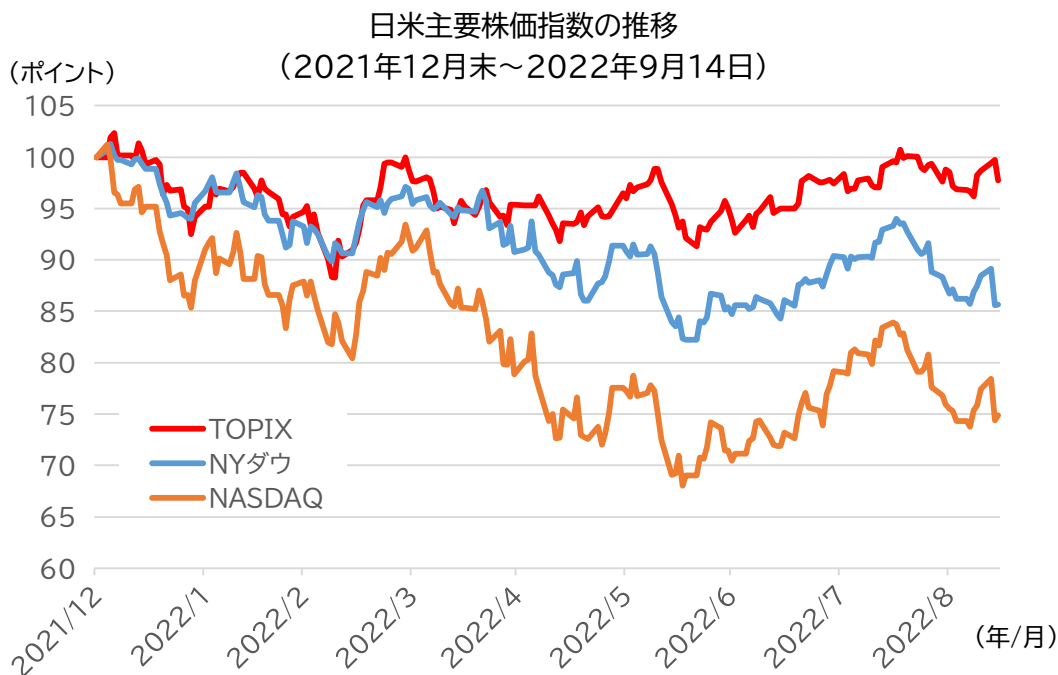
(発行日: 2022年9月20日)

世界的に上昇が続くインフレや米金融政策を巡る不透明感から、株式市場は不安定な動きを見せています。本レポートでは足元の投資環境と国内中小型株式市場の見通しについてお伝えいたします。

### 不安定な外部環境の中、相対的に日本株優位の展開が継続

9月13日に発表された8月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米連邦準備制度理事会(FRB)が大幅利上げに踏み切るとの見方から世界の株式市場は大きく下落することとなりました。

一方で、米国株を中心とした海外株の下落に対して比較的日本株は底堅く推移しており、年初以降の相対的な日本株優位の動きが継続する展開となっています。勿論、引き続き景気やインフレ、それに対する金融政策動向など不安定な外部環境には注視が必要ですが、インフレ率が相対的に低位で大規模金融緩和政策が継続していることや円安効果による業績上方修正期待など、相対的に日本株が優位な展開となる背景に大きな変化はないと考えられます。特に、遅れていた経済正常化が本格化しつつあり、内需を底上げする期待が今後強まっていくことが見込まれます。



※2021年12月末を100として指数化。  
(出所)Quickのデータを基にいちよしアセットマネジメント作成。

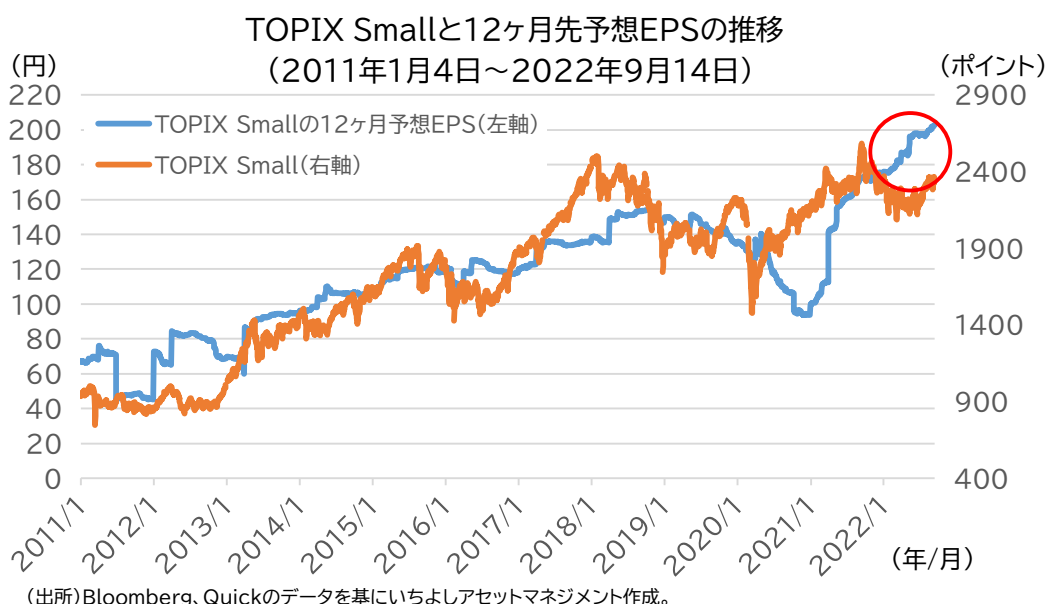
◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

## 経済正常化の動きは内需中心の中小型株にとって追い風に

欧米各国と比べ、出遅れていた日本経済の正常化の動きが今後本格化していくことは、内需が中心となる中小型株にとっては追い風になるものと考えられます。一方で、中小型株は現在、相対的に割安な状況となっています。



中小型株の足元の業績や今後の見通しは良好で、EPS(一株当たり利益)の上昇傾向も継続しています。



当面不安定な相場展開を想定しておく必要がありますが、中長期視点からも株価水準が魅力的と判断される中小型銘柄が増加していると考えられ、有望な中小型銘柄への選別投資を強化していくタイミングにあると判断しています。

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。